



第95号

2011 / 12

トメ市

車掌のお仕事

■車掌の仕事といえば、ドアの開け閉め、車内放送、切符の販売、案内などが主な業務です。ように列車の操縦以外は、車掌の仕事であり、車掌はその列車の“長”すなわち“列車長”（業界用語で、レチ）なわけです。

■運転士が定められたルールに従って、列車を運転、駅に停車させる。駅に着いたら車掌が停止位置を確認し、ドアを開ける。車掌は時刻が来るとドア

を閉め、運転士に出発合図を送る。これが通常の列車の運転の流れです。非常に単純な流れです。

■でも逆に単純過ぎるがゆえに、ミス誘発するのが人間。その対策として実施されているのが、“指差確認喚呼”。

■指差確認喚呼とは、体を動かし声を出すことによって、意識レベルを向上させ、ミス（ヒューマンエラー）を少なくさせるものです。これは、旧国鉄が開発しそうで、今では様々な企業で取り入れられているそうです。

■車掌で例を出すと、まず、駅停車時に信号機を指差し、現示してる信号を喚呼（進行し



てもいい現示なら、信号よし！）。次に乗務カードを指差し、発車時刻を確認（何時何分何秒！）

発車時刻が近づくと、発車時刻の10秒ほど前にドアスイッチの閉ボタンを押し、ドアを閉め、ドアが開いていることを示すランプ（側灯）が消えたことを確認するため、側灯を指差し、（ドアよし！）と喚呼。自分が車両に乗り込んだら、運転士に発車オーライの合図である、ブザーを1秒ほど押すと、運転士が列車を起動させ、出発です。

事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内1-1-15(禁酒会館3F) TEL&FAX 086-232-5502

E-mail racda_okayama@ybb.ne.jp

RACDA

検索

NPO法人 公共の交通ラダ
RACDA詳しくは http://wiki.livedoor.jp/racda_okayama/ まで